

令和2年度第1回印西市地域公共交通会議  
師戸地区対策分科会 会議録

開催日時 令和2年8月20日(木) 午後3時40分から  
開催場所 印西市役所 附属棟2階 23、24、25会議室  
出席者 豊田裕子委員、石橋速人委員、石井隆委員  
欠席者 佐藤信之委員、川嶋一郎委員  
事務局 交通政策課 本多課長、小林係長、鈴木係長、成田主査、阿部主査  
支援業務受託者 株式会社 ライテック  
傍聴者 0名

次 第

- 1 開会
- 2 課長挨拶
- 3 議題
  - (1) 印西市地域公共交通計画の内容について(検討資料)
  - (2) 宗像路線の実証運行について
  - (3) その他
- 4 閉会

会議録(要約)

## 1 開会

(事務局) ただいまから、令和2年度第1回師戸地区対策分科会を始めさせていただきます。

## 2 出欠の報告

(事務局) 議事に入ります前に、本日の委員の出欠につきまして、ご報告いたします。

佐藤委員、川嶋委員は、本日欠席でございます。

本日の出席委員は、3名出席いただいております。

(事務局) また、本日の会議につきましては、印西市地域公共交通会議設置要綱第7条第6項の規定に基づき、公開とさせていただきます。本日の会議においては、傍聴の申し出はありませんでした。

(事務局) また、本日の会議でございますが、会議録作成のため、録音させていただきますので予めご了承ください。

## 3 課長挨拶

(事務局) 続きまして、交通政策課課長の挨拶でございます。

### 【 課 長 挨 拶 】

## 4 議題

### (1) 印西市地域公共交通計画の内容について

(事務局) それでは、議題(1)「印西市地域公共交通計画の内容について」検討資料を基に、説明させていただきます。

### 【検討資料 事務局説明】

(事務局) 師戸対策分科会ということですので、その地域には、宗像路線の実証運行がされています。その辺について、計画の中に盛り込むべき部分について、ご意見がありますでしょうか。資料の10ページ以降に公共交通の課題について説明させていただいています。一部説明しますと、市内に走るバスは、統一された基準で運行していかなく、それぞれの地域の事情の基、運行されている状態なため、わかりやすく運行していこうというのが大きな流れだと思っています。

(委員) ふれあいバスの印旛・本埜支所ルート、布佐ルート利用者が増加とありますが、どうい理由で使っているかわかりますか。

(事務局) 布佐ルートの主な利用は、我孫子市の方が多いと思いますが、布佐駅の周辺から千葉ニュータウン中央駅または千葉ニュータウン中央北です。中央北のバス停は、イオンの横にあります。この間の移動が非常に多い。それが伸びてきて、利用者が増えています。印旛・本埜支所ルートの主な利用は、印旛日本医大駅周辺から印西牧の原駅、ジョイフル本田のある商業地区の往復が多い。それが伸びてきて、利用者が増えています。

(委員) 印旛地域では、印旛・本埜支所ルートは結構定着してきている。どのくらいの年代が多いかわかりますか。

(事務局) 細かいデータはありませんが、子供たちの利用も多いです。それも増えている要因の一つになっています。大人の方では、高齢者の方が多いと思います。各便を見るたびに、高齢者の方が多く利用されているのを見かけます。

(委員) 非常に不便な地域に住んでいますので、免許を返納した場合の対策といったものが非常に気になります。免許を返納していない人はたくさんいますけど、でも、少し危険だなと感じています。今後は、コミュニティバスのようなものを活用していくようなことを考えることで、免許を返納したときの対策を考えていなければならぬと思いました。

(事務局) 現在、市では免許証の返納に対しての対策はありません。京成バスグループでは、免許証返納者に対して2年間定期券のようなものを割安で購入できるサービスがあります。一方、市としては、今年度、免許証返納対策ではありませんが、70歳以上の方のふれあいバスの利用に対して無料で乗車できるサービスを実施しています。

(委員) ふれあいバスは70歳以上の方が無料で乗れる。ふれあいバスが乗れない地域は、高齢者が多い地域と思っています。バスは大成交通のバスしかありませんが、そちらでは使えません。どうしても不公平感が出てしまう。ふれあいバスを市が運行しているので無料にするのはわかるのですが、この地域はふれあいバスのバス停にもいけないし、なおかつ高齢者は無料で乗れるのにそれもできない。皆さんの要求は使えるようにしてほしいということだと思います。ふれあいバスは100円、大成交通は300円で格差があるし、人口が少ないからお金をかけられないのはわかるのですが、そうすれば益々自動車に頼らなければいけなくなってきます。もう少しまく行く方法があったら良いと思いました。前回の会議は、すごく細かい話をされていて、ある業者さんの話で進んでいた。皆さん忙しい中来ていただいているので、時間ももったいないという言い方はおかしいと思いますが、策定していくというより公聴会みたいな感じになっている気がします。大きな流れが進めていけない気がします。事前に資料を送付していただいているので、例えば前回の会議のように、細かい話をするのではなくて、事前に質問を準備しておけば、時間の短縮になると思います。細かい話ではなく、全体の話を進めた方が良いのではないかと思います。

(事務局) 会議の役割としては細かい話もすることも必要ですが、ご指摘のように、どのような目的で公共交通を実施しているのかを共通認識として持っていない状況にあります。本年度計画を作成するにあたって、考え方をはっきりさせて、それぞれのバスの役割だとか、なぜ地域で違うのかとか、そのようなことを含めて計画を作っていく、また、どれくらい期間が掛かるか計画に載せて進めていきたいと思います。また、おっしゃる通り、木を見て森を見ずではないですが、細かいところばかり出て全体のことについて後回しになって、気づいてみたら方向性が間違っていたということになってしまうことは避けたいと思います。

(委員) 基本的なことが分かっていないと思います。資料をみて書いてあることは理解できても、どうしてこうなるのか、基本的な情報がない。例えば、ふれあいバスの料金は100円で、その他のバスは違う料金で運行しているとか、基本的な情報提供をしていただきたい。話を聞いていると、その場では話はわかりますが、これから実際にどうするかは、皆さん知識がないので分からないと思います。そのため、できれば基本的な情報をいれていただければ、わかりやすいと思います。背景があったと思いますけど、その背景を無視して、運賃の話のみになってしまったりするので、背景がわかるようにしてもらえたら良いと思います。

(事務局) 基本的なことを踏まえて、わかりやすく計画を作っていきたいと思います。宗像路線について何か意見はありますか。

(委員) 実証運行中であって、これからどんな点が問題になってくるかみているところです。最近おもしろい現象がおきて、赤ルートが主ルートだと思うのですが、最近、利用状況が逆転していることがあります。また、宗像小学校が廃校になって、いには野小学校へスクールバス2台出しています。父兄の意見として予想されるものとして、吉田地区の児童において印旛中学校へ通うのに遠いということが予想できます。人数はかなり少ないので、そういうことを含めた上で、ある程度検討できることもあると思います。また、皆さん自転車通学だと思いますけど、イノシシが増えて、夕方うす暗くなってくると、大交通のタクシーだと3台イノシシと衝突しています。そういうこともあって、子供たちも大変だろうと思っています。

(事務局) 青ルートの利用が増えたということは、実証運行としては成功ということですか。

(委員) はい。ただ、その分赤ルートが減っているということもあります。利用が一番多いのは、日医大病院です。そこへ行くのに以前はいろんな手段がありましたが、たまたま一つになったので利用が多くなったということだとは思いませんが。

(事務局) バス停の利用者数をみると、1位は京成臼井駅が変わらないです。以前に話したかもし

れませんが、一番多く利用される区間は赤ルートの京成臼井駅と日医大病院間です。今までは日医大が2位だった。それが去年の11月か12月に、初めて印西牧の原駅が第2位になって、現在でも毎月、印西牧の原駅の利用が多い状態になっています。コロナの影響で過去の実績と比較できない状態なので、それが本当に増えているのかどうか結論が出にくい状況になっています。バス停の利用者数だけでみると、間違いなく日医大に代わって印西牧の原駅になっています。

(事務局) 学生の利用者は多いですか。

(委員) 学生は、高校生が数名定期券を利用しています。学生は全体的に少ないと思います。

(事務局) 台風で運休していた時、学校へ行くのですが、いつから運行を再開しますかということがあった。利用が増えてきていると思いました。印西牧の原駅から京成臼井駅は利用されているようにみえます。

(委員) 自転車で臼井駅まで行き来している学生が、雨の日にバスを乗っていることはありますか。

(委員) そこまで把握していません。

(委員) その子たちが雨の日に利用すれば、人数が増えるのではないかと思います。

(事務局) 学生が1人増えただけで大きいと思います。

(委員) 中学校のスクールバスの話ですが、印旛中学校に通っている子がいまして、帰りは親の迎えでなく、バスで帰りたいとした時に、時間がどうしても合わないことがあります。バスの時間に合わせるためには、帰りの会を抜け出さないと間に合わない。その時間を逃すとすごく待たないといけないことになる。時間をうまく調整することができれば、スクールバスではなくても、中学生が利用できるのではないかと思います。今年は、時間が変わってしまったのでわかりませんが、中学生は、バスに乗っていないのですか。

(委員) 乗っていません。

(委員) コロナの影響で、知り合いの方がバスは空いているので乗りますって言っていました。中学生はスクールバスを出していただけると便利だと思います。

(事務局) 各委員からご意見をいただきました。実証運行はうまくいっている。これから問題になりそうなところを、表現の方法が正しいかわかりませんが、乗りたくても乗れなかった人が乗れるようになったら、やはり乗るということが客観的にわかったということです。

これは一例だと思います。先ほど、スワン号の分科会で議論をしても答えがでない課題もありますが、うまくやれば課題が解決するという項目として載せられるのではないかと思いますので、その辺は計画に入れていきたいと思います。難しい課題でもどうにかして解決していくという方針や考え方を載せることで、目に見える目標にしていきたいということもあります。わかりやすい表現で載せていきたいと思います。計画、全体の方向性、宗像路線。これらのことについて、今のご意見を載せるということで、承認していただければと思うのですが、よろしいでしょうか。

#### 【特に意見なし】

(事務局) 議題1は終了させていただきます。

#### (2) 宗像路線の実証運行について

(事務局) つづきまして、協議事項(2)「宗像路線の実証運行について」ご説明いたします。

#### 【事務局説明】

(事務局) 来年度の宗像路線の実証運行について、継続していくことでよろしいでしょうか。

#### 【異議なしの声あり】

(事務局) 承認が取れましたので継続していきます。

#### (3) その他

(事務局) その他、ご意見はありますか。

(委員) 南ルートバスとすれ違ったのですが、柏木台を通るルート、あのバスがもうちょっとこっちに来れば、岩戸地区に入るのですが。ほとんど人が乗っていない。セブンイレブン位まで来るとうれしい。大成交量と重なってしまいますが。

(委員) 路線バスと重複してしまうので難しい。  
例え、その区間を延ばすだけでも、ふれあいバスの便数が2便位減ってしまうと思います。

(事務局) そうだと思います。

(委員) 現在スピードを出さざる得ない状況になっています。かなりシビアなダイヤだと思います。

(委員) 松崎工業団地があるから回しているのですか。

(事務局) その辺りの地域の交通空白地域に対応しています。

(委員) 利用者はいないですね。乗っている所をみたことがない。

(事務局) 最近、グループホームへの移動で使われています。

(委員) バス停を作ってくれという意見ですが、三軒屋のバス停を作ったのですが、誰も乗らない。そのため、こっち通してくれという要望があって通しても乗らない可能性もあるということです。あれば便利だなという考えだけで希望を出したと思います。言いたいことだけ言ったという印象です。

(委員) 必ず学校、仕事に行くなどの、必ず乗りますというのがない。

(委員) 要望があっても聞いても、そういうことがあるから、その辺精査することが難しいところだと思います。

(委員) バスが来ていない地域から人が乗っていないふれあいバスをみると、希望が出ると思います。

(委員) 宗像小学校がなくなって、スクールバスの経路が変わったことについて地域の方から意見を聞いたことがあります。ただ、スクールバスに限らず、バスを降りてから道路を渡るときに、信号がないし、横断歩道がなかったりするので、道を渡るのが非常に怖いということがある。安全の視点という部分を十分持って、各機関と連携する視点があると良いと思います。例えばスクールバスにおいては、子供が降りる場所は、横断歩道もないし、信号もない、車も多い。渡るのに危険な思いをしているという意見もいただきます。要望について、警察や市に出したことがあります。そういったような安全の視点を持ちながら、各機関と連携していければ良いと思いました。

## 5 閉会

(事務局) それでは、以上をもちまして「令和2年度第1回師戸地区対策分科会」を終了いたします。ありがとうございました。